

## ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市

2008年9月11日(木)～14日(日)

ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

### ファイナルレポート

- 90カ国から1万6000人が来場
- 国外からの来場者が75%
- バイヤーの質の高さが顕著
- 業界の指針となるラインラントTUVの「安全の家」「イノベーション賞」

子供用品分野で世界最大規模のケルン国際ベビー・ヤング用品見本市が9月14日に4日間の会期を終え、成功裏に閉幕しました。今回は41カ国から773社が出展、また90カ国から1万6000人以上の専門バイヤーが来場し、業界の最新トレンドと新製品について活発に情報交換が行われました。出展者の80%、来場者の75%が国外からの参加で、当見本市が子供用品の分野で世界でもトップクラスのビジネスの場であることが確認されています。「国際性が非常に豊かで、しかもバイヤーの質が高い点で、ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市は文句なしに業界ナンバーワンの存在です。世界中の関係者がケルンで出会い、ここで子供用品のトレンドが生まれているのです」と、ケルンメッセのオリバー・クアト副社長は総括しています。当見本市では、ベビーカー、チャイルドシート、子供用家具、玩具、繊維製品、衛生用品、ベビー用家電、ベビー/ヤング/マタニティー・ファッションなどが紹介されました。

今回もバラエティに富んだ展示製品が、多くの来場者にアピールしました。特に東欧と中近東からのビジター数の増加が顕著です。展示スペースの使用率は100%で、出展者のうち615社が国外から、158社がドイツ国内からの参加でした。展示にはホール10.1、10.2、11.1、11.2が使われ、総展示面積は8万㎡に及んでいます。多くの参加企業が会場のキャパシティー拡大を望んでいるため、来年度には展示スペースの拡張が予定されています。

市場の伸びが著しいベビー・子供用玩具分野では、出展各者とも見本市での成果に非常に満足しています。「今回、数年ぶりでこの見本市に出展を決めたのですが、その決断が正しかったことが証明された形です。特に新規顧客を多数獲得できたことが大きな成果ですね」と、マルガレーテ・シュタイフ社のドイツ地域キーアカウントマネジャーであるミヒャエル・アドラー氏は話しています。「驚いたのは、輸出の手ごたえが十分にあったことです。スウェーデン、スペイン、ギリシャ、そして遠くはパキスタンから、バイヤーが当社ブースを来訪してくれました」。

また、ベビー・ヤングファッション部門の出展者も、当見本市の国際性の高さに満足した表情です。「すばらしい成果がありました。特に国外からの来場者と実りあるコンタクトが多く生まれ、新規顧客も獲得できました。この見本市は、ベビー・幼児・マタニティーファッションのメーカーにとって重要な役割を果たしていると思います。将来的にはこの部門をさらに拡充してほしいですね」と話すのは、ベリーボタン社のシュテッフェン・オフト氏です。

その他子供用品では、携帯できること、長く使えること、そして早期学習のコンセプトがトレンドの中心です。当見本市でも携帯可能でフレキシブルな未来型製品が人気を集めていました。たとえば野外でのピクニックに電源なしで利用できるミルク保温器、旅行に便利なベビー用の折りたたみ式バスタブ、街でカフェに入る際に瞬時にベビーカーへと変身するチャイルドシート付き自転車などがその例です。同様にベビーカーも軽量、小型で扱いやすいタイプが最新モデルの主流で、超軽量のカーボンフレームを使った製品なども紹介されました。自動車用チャイルドシートのメーカー各社は、このようにアクティブな生活スタイルが好まれていることを背景に、居住性やデザイン性に優先して、安全性を一層重視するようになっていきます。

子供と一緒に「成長できる」ことから経済性の高い製品も人気を集めました。子供の身体のサイズに合わせて調節が利き、何年も使うことができるチャイルドシートはもちろん、0歳から3歳までの幅でサイズを大きくできる下着を紹介したメーカーもあります。子供服ではナノ効果をもつ素材を使った、高品質で通気性に富み、汚れにくいタイプの製品が好まれています。子供用家具も同様に、何年も使える種類のもが増えています。こうした家具は概してあまり子供っぽくないため、大人のリビング空間ともじっくり調和します。デザインとしてはクラシックなもの、ロマンチックなもの、トレンドを意識したものまで様々なタイプがあります。

子供の早期能力開発も、ますます関心を集めているテーマのひとつです。原則は「遊びながら学習できること」。このため、巨大なパズルを分解して木馬を組み立てたり、赤ちゃん時代の写真アルバムを開くとおばあちゃんが音声で語りかけたり、多言語CDで幼児が早い時期に外国語を習得したりといったアイデアが登場しています。一方で、古典的な木の玩具やぬいぐるみは時代を超えて愛されている定番です。これに加えて新開発の「ぬいぐるみ発見システム」があれば、もうお気に入りのクマちゃんを失って泣くこともありません。

TUV ラインラント(技術検査協会)が出展した「安全の家」では、すべての子供用品に求められる条件として「安全」を掲げました。この中で、子供の事故をテーマとしたプログラムを重点的に開催し、子供用品の販売者、教育関係者、助産婦らを対象に、子供部屋、バスルーム、キッチン、車内などで日常的に発生する事故のリスクとその予防策について情報を提供しました。このほか各種インフォメーション配布、講演、プレゼンテーションなどが催され、特に市場調査研究所が行ったヨーロッパの子供製品市場に関する講演会が満席の盛況でした。

## ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市 2008 データ

- 総展示面積 : 8 万㎡
- 出展者数 : 41 カ国 773 社 (うち 615 社、80%が外国企業。ドイツ企業は関連販売会社 1 社を含め 158 社)
- 来場者数 : 90 カ国 1 万 6100 人 (うち外国人の比率 75%、会期最終日に概算)

次回のケルン国際ベビー・ヤング用品見本市は、2009 年 9 月 17 日 (木) ~ 20 日 (日) にケルンメッセ会場で開催されます。